

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	花と緑の商品知識Ⅱ		履修区分	必修	選択
受講対象	花き生産コース・グリーンコーディネートコース フラワーコーディネートコース・造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	花木、洋ラン、観葉植物等の栽培管理や販売に関する知識の学習。	到達目標	小売りの現場で求められる、お客様からの基礎的な質問等に答えられる知識の習得。		
担当教員	大久保 茂徳				
実務経験と授業との関わり	園芸会社での勤務経験、大型ガーデンセンターでの講習会講師の経験があり、植物に関する商品知識が豊富である。よって、小売りの現場で顧客へ説明することを想定し、実践的に指導することができる。				
テキスト・教材	フォーマット用紙、ファイル				
成績評価方法	毎回の授業で扱う植物それぞれについて、フォーマットにまとめたものによって評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	花木類	春の花木	
2	花木類	春の花木	
3	花木類	初夏の花木	
4	花木類	家庭果樹	
5	温室植物	洋ラン類	
6	温室植物	洋ラン類	
7	温室植物	観葉植物	
8	温室植物	観葉植物	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 欠席時のフォーマットが未提出の場合には減点となる。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 植物の出回り状況によって、指導内容や指導順序が変更になることがある。

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	園芸実習Ⅱ		履修区分	必修	選択
受講対象	花き生産コース・野菜生産コース・グリーンコーディネートコース・造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	植物栽培についての興味と関心を高めるとともに、適切な管理方法を学習する。	到達目標	圃場での時期に応じた管理方法を習得する。		
担当教員	萩原 文雄				
実務経験と授業との関わり	鉢花、花壇苗、洋ラン、切り花などの花き生産に20年以上従事し、幅広い植物の生産知識を持つ。よってコース問わず最低限知っておくべき基本的な栽培知識、技術を指導することができる。				
テキスト・教材					
成績評価方法	出席状況、授業態度を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	圃場管理	圃場での植物管理作業	
2	圃場管理	圃場での植物管理作業	
3	圃場管理	圃場での植物管理作業	
4	圃場管理	圃場での植物管理作業	
5	圃場管理	圃場での植物管理作業	
6	圃場管理	圃場での植物管理作業	
7	圃場管理	圃場での植物管理作業	
8	圃場管理	圃場での植物管理作業	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	植物管理技術Ⅱ		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	90	単位数	3
授業概要	1年次に基礎として学んだ園芸分類ごとの管理技術を、2年次では代表種を複数用いて深く理解していく。	到達目標	園芸的分類を理解した上で、そのカテゴリーに必要な管理技術を年間管理を通して習得する。		
担当教員	坂野 将史、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	（坂野）バラ園管理に従事するかたわら育種家でもあり、園芸イベントの講師を務めるなど実際の現場に即した指導ができる。（伊藤）植物生産者としての経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持し実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	植物に関わる一連の管理作業の習得状態を評価。また学習した植物の実物鑑定試験を実施する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	1年草の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
2	球根の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
3	多年草の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
4	薬用植物の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
5	多肉植物の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
6	サボテンの基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
7	オーストラリア原産種の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
8	水生植物の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
9	観葉植物の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
10	ラン科植物の基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
11	その他植物の管理基礎	ラン類、コーデックス、森林性サボテンなど	
12	シェードガーデンの基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
13	シルバーリーフプランツの基礎	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
14	ガーデニングの管理	寄せ植えデザインと作成、継続管理の方法	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	施設管理Ⅱ		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	60	単位数	2
授業概要	農場全体の併設施設の管理を実施していく。植物の生育環境を考えた温室管理や修繕なども含めて指導する。	到達目標	見本植物の普段からの灌水、除草、換気管理に加え、季節ごとに重要となる管理作業について理解する。		
担当教員	萩原 文雄				
実務経験と授業との関わり	鉢花、花壇苗、洋ラン、切り花などの花き生産に20年以上従事していた。よって、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	農場要覧				
成績評価方法	朝の灌水当番に加え、夏・冬休み期間の管理当番を実施し、その出席にて評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	基本管理①	灌水・除草管理	
2	基本管理②	換気・遮光管理	
3	基本管理③	指標植物について	
4	基本管理④	微気象について	
5	基本管理⑤	導入番号と位置について	
6	基本管理⑥	最高最低気温について	
7	真夏の管理	灌水、遮光、換気について	
8	見本植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
9	熱帯植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
10	薬用植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
11	乾生植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
12	常設インドアガーデンの管理①	アトリウム空間側の管理方法	
13	常設インドアガーデンの管理②	暗い側の管理方法	
14	真冬の管理	灌水、暖房、内張りについて	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	グリーンコーディネート実践Ⅱ		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	300	単位数 10
授業概要	フラワーショーへの出展、文花祭大型装飾や商業空間への展示を指導し実践することで、実際の仕事の手順と計画を一連の動作を繰り返しより理解していく。	到達目標	実際の仕事と同じ作業を繰り返し実践することでの高い習得度を目指す。		
担当教員	田中 みゆ、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	(田中) グリーンコーディネートコース卒業生で園芸店での勤務経験もあり、実際の現場に即した内容を指導することができる。園芸装飾技能士3級では成績優秀者賞を受賞。(伊藤) 園芸装飾技能士1級および職業訓練指導員免許を有し技能検定員を務めている他、植物生産関連の勤務経験もあることから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	イベント実施計画書（ラフスケッチ、平面図、作業工程、見積書、現金出納帳）				
成績評価方法	図面を基に作品製作、搬入・搬出が主な作業であり、その手順や作業段取、周りへの配慮について作業取組み状況の評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートを提出し単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	フラワーショー出展作業①	現場の下見、出展計画	
2	フラワーショー出展作業②	図面類作成	
3	フラワーショー出展作業③	植物資材の仕入	
4	フラワーショー出展作業④	作品準備	
5	フラワーショー出展作業⑤	施工、搬入、完成、継続メンテナンス	
6	フラワーショー出展作業⑥	撤去作業、植物資材類の整理整頓	
7	文花祭大型装飾①	現場の下見、出展計画	
8	文花祭大型装飾②	図面類作成	
9	文花祭大型装飾③	プレゼンテーション	
10	文花祭大型装飾④	植物資材の仕入	
11	文花祭大型装飾⑤	ガーデン準備作業	
12	文花祭大型装飾⑥	施工、搬入、完成、継続メンテナンス	
13	文花祭大型装飾⑦	撤去作業、植物資材類の整理整頓	
14	商業空間出展①	現場の下見、出展計画	
15	商業空間出展②	図面類作成	
16	商業空間出展③	プレゼンテーション	
17	商業空間出展④	修正図案の確認	
18	商業空間出展⑤	植物資材の仕入	
19	商業空間出展⑥	ガーデン準備作業	
20	商業空間出展⑦	ガーデン準備作業	
21	商業空間出展⑧	施工、搬入、完成、継続メンテナンス	
22	商業空間出展⑨	撤去作業、植物資材類の整理整頓	
23	卒業作品展大型装飾①	現場の下見、出展計画	
24	卒業作品展大型装飾②	図面類作成	
25	卒業作品展大型装飾③	植物資材の仕入	
26	卒業作品展大型装飾④	ガーデン準備作業	
27	卒業作品展大型装飾⑤	ガーデン準備作業	
28	卒業作品展大型装飾⑥	施工、搬入、完成、継続メンテナンス	
29	卒業作品展大型装飾⑦	撤去作業、植物資材類の整理整頓	
30	総合評価	一連の作業の評価と講評	
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	特殊空間緑化			履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期		時間数	30	単位数	1
授業概要	オフィスや地下街へ植物を導入する特殊空間緑化について、一連の手法を理解し、実例を紹介しながら深めていく。	到達目標	特殊空間緑化に関わる法令を理解したうえで、安全性からデザインの手法を理解していく。			
担当教員	吉良 宗範、伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり	（吉良）（株）日植ガーデン勤務。インドアなどの特殊空間における植栽のスペシャリストであるため、実践的な指導ができる。（伊藤）園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材	関連資料の配布					
成績評価方法	基礎知識の確認テストおよびレポートにて総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	特殊空間緑化緑化とは①	特殊空間緑化の役割について	
2	特殊空間緑化緑化とは②	実例からその意味を学ぶ	
3	屋上緑化①	定義と役割、必要性について	
4	屋上緑化②	実例からその意味を学ぶ	
5	壁面緑化①	定義と役割、必要性について	
6	壁面緑化②	実例からその意味を学ぶ	
7	屋内緑化①	定義と役割、必要性について	
8	屋内緑化②	実例からその意味を学ぶ	
9	植物の持つ効能①	環境浄化や心理ストレス緩和など	
10	植物の持つ効能②	防火防災や避難の効果について	
11	植物の持つ効能③	温暖化対策、防音効果について	
12	屋内緑化計画	関連会社指導による実例紹介	
13	屋内緑化計画	関連会社指導による演習指導	
14	見学	特殊空間緑化関連施設の見学	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	ガーデニング		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	一般家庭を対象としたガーデニングを学ぶことで、その指導範囲を高めていく。また、今年フラワーショウのガーデニングコンテスト出展を目指して取り組む。	到達目標	ガーデニングの基礎的な手法を学ぶことで、家庭園芸の普及にも携われるようになる。あわせて作品づくりを通して感性を深めていく。		
担当教員	田中 みゆ、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	（田中）グリーンコーディネーターコース卒業生で園芸店での勤務経験もあり、実際の現場に即した内容を指導することができる。園芸装飾技能士3級では成績優秀者賞を受賞。（伊藤）園芸装飾技能士1級および職業訓練指導員免許を有し技能検定員を務めている他、植物生産関連の勤務経験もあることから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	学習した植物の実物鑑定試験を実施する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ガーデニングとは	ガーデニングの歴史や発展について	
2	コンテナガーデン①	植物を飾るということ	
3	コンテナガーデン②	鉢植えの醍醐味について	
4	コンテナガーデン③	プランターを用いる意味	
5	コンテナガーデン④	プランター植えの実践	
6	ガーデニング作業①	ガーデニングコンテストの作品制作	
7	ガーデニング作業②	ガーデニングコンテストの作品制作	
8	ガーデニング作業③	ガーデニングコンテストの作品制作	
9	ガーデニング作業④	ガーデニングコンテストの作品制作	
10	ガーデニング作業⑤	ガーデニングコンテストの作品制作	
11	ガーデニング作業⑥	ガーデニングコンテストの作品制作	
12	ガーデニング作業⑦	ガーデニングコンテストの作品制作	
13	ガーデニング作業⑧	ガーデニングコンテスト会場へ搬入	
14	ガーデニング作業⑨	ガーデニングコンテスト会場からの撤去	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	インテリア商品制作Ⅱ		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	基礎的なグリーンインテリアを1年生で学んだが、ここではコストを意識した商品作成やオリジナル商品の幅を広げていく。	到達目標	コスト意識も大切だが、トレンド商品を意識した考え方と対応力を養う。		
担当教員	伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	植物生産者としての経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	オリジナル商品企画において、企画書、商品作成、プレゼンテーションの一連の流れを評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、商品企画の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	グリーンインテリア①	ミニ観葉を活かした商品提案	
2	グリーンインテリア②	木材を利用したベースづくり	
3	グリーンインテリア③	デザインと植栽	
4	グリーンインテリア④	コスト、売上などの計算	
5	小品盆栽①	小品盆栽とは 魅力について	
6	小品盆栽②	植物と器の仕入	
7	小品盆栽②	商品制作	
8	エアープランツのインテリア①	単品を最大限に見せるための工夫	
9	エアープランツのインテリア②	商品紹介と仕様アイデアについて	
10	エアープランツのインテリア③	商品制作	
11	オリジナル商品企画①	文花祭にて販売する商品のアイデア	
12	オリジナル商品企画②	仕入、コスト計算、販売計画	
13	オリジナル商品企画③	商品制作	
14	オリジナル商品企画④	プレゼンテーション計画	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	植物販売技術Ⅱ		履修区分	必修	選択	
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期		時間数	30	単位数	1
授業概要	販売促進（売上、集客アップの方法）に結びつく手法を紹介し、学内販売会の機会に実践する。ステップアップのためにガーデンセンター見学を実施する	到達目標	店内における植物の飾り方、見せ方、また植物を紹介するためのPOPなどの配列について理解している。			
担当教員	坂野 将史、伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり	（坂野）バラ園管理に従事するかたわら育種家でもあり、園芸イベントの講師を務めるなど実際の現場に即した指導ができる。（伊藤）植物生産者としての経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持し実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材	関連資料の配布					
成績評価方法	販売促進のための手法をレポートにて評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートの得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	植物の販売方法	過去から現在への展望を理解する	
2	宣伝の意義	広告、市場調査	
3	売り場づくり①	導線計画、陳列方法	
4	売り場づくり②	POPの重要性、寄せ植えの効果	
5	売り場づくり③	接客対応のデモンストレーション	
6	販売会実践①	母の日販売会にて実践	
7	販売会実践②	母の日販売会にて実践	
8	販売会実践③	母の日販売会にて実践	
9	販売会実践④	母の日販売会にて実践	
10	販売会実践⑤	母の日販売会にて実践	
11	販売会実践⑥	母の日販売会にて実践	
12	大型ガーデンセンター見学①	園芸店経営者より店舗の特徴を紹介	
13	大型ガーデンセンター見学②	集客ポイントと特化商品の紹介	
14	大型ガーデンセンター見学③	近隣の特徴、購買意欲の方法紹介	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	マーケティングⅡ			履修区分	必修	選択
受講対象	花き生産コース・野菜生産コース グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期	時間数	30		単位数	1
授業概要	農業や園芸におけるマーケティング手法について1年次より理解を深める。	到達目標	経営におけるマーケティングの役割を理解する。			
担当教員	河野 津子					
実務経験と授業との関わり	中小企業診断士の資格を持ち、中小企業の支援に取り組む他、農業・地域活性化の取り組み支援にも関わる。また、行政の立場からも農業の6次産業化を支援するなど、実務に長けていることから、実際の現場に即した実践的な指導ができる。					
テキスト・教材	プリント等					
成績評価方法	授業内で提出するレポートや課題で評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	復習	1年次の振り返り	
2	マーケティングの実例	農業や園芸におけるマーケティングの例	
3	マーケティングの実例	農業や園芸におけるマーケティングの例	
4	マーケティングの実例	農業や園芸におけるマーケティングの例	
5	マーケティングの実例	農業や園芸におけるマーケティングの例	
6	マーケティングの実例	農業や園芸におけるマーケティングの例	見学
7	総括	これまでの授業のまとめ	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	園芸指導技術		履修区分	必修	選択	
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期		時間数	30	単位数	1
授業概要	教わる立場から一転、教える立場としての授業展開。近隣の公民館にて園芸講座を実施し、企画力・指導力について実践型式で学ぶ。	到達目標	園芸講座がスムーズに実施されているかを計り、お客様の目線に合わせた園芸について理解する。			
担当教員	伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり	植物生産者としての経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材	関連資料の配布					
成績評価方法	園芸講座における各自の役割と説明がしっかりされているか等について、学校でのリハーサルを含めて評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ実践での段取りと接客状況の評価が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸指導とは	教えるために必要な要素	
2	園芸講座の紹介	過去の実施例と企画立案について	
3	園芸講座の概要①	テーマ、参加料、生涯保険、仕入について	
4	園芸講座の概要②	講座の流れ、役割分担、ポイント、まとめ	
5	指導方法①	絵コンテの作成	
6	指導方法②	材料の確認、デモンストレーションの重要性	
7	指導方法③	寄せ植えづくりを通して指導	
8	リハーサル① 先生役2名	ハンギングバスケットの指導方法	
9	リハーサル② 先生役2名	ハンギングバスケットの指導方法	
10	リハーサル③ 先生役2名	ハイドロカルチャーの指導方法	
11	リハーサル④ 先生役2名	ハイドロカルチャーの指導方法	
12	リハーサル⑤ 先生役2名	コケリウムの指導方法	
13	リハーサル⑥ 先生役2名	コケリウムの指導方法	
14	園芸講座の実践	実際の園芸講座を開催して指導	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	卒業研究			履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	150	単位数	5
授業概要	各自で植物の研究テーマを設定し、調査・解析・研究発表を通して、個々のプレゼンテーション能力、文章能力、考察力を養う。	到達目標	主体的に研究を行うことで、植物の変化にいち早く気付ける観察力を養う。またエクセル、ワード、パワーポイントを駆使することでプレゼンテーション能力を高め就職後に結びつける。			
担当教員	伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり	植物生産者としての経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材	過去の卒業研究論文、学会誌等の関連資料					
成績評価方法	卒業研究発表会を実施し、その成果を確認する。卒業研究論文を作成し、文章構成、表現、考察力等の内容より評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ卒業研究論文の完成で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション	実施計画の必要性、過去の研究内容について	
2	実施計画①	実施計画書作成	
3	実施計画②	実施計画書添削	
4	実施計画③	テーマ決定、準備開始	
5	調査・研究①	付属農場にてセッティング	
6	調査・研究②	調査項目の測定	
7	調査・研究③	調査項目の測定	
8	調査・研究④	調査項目の測定	
9	調査・研究⑤	調査項目の測定	
10	調査・研究⑥	調査項目の測定	
11	調査・研究⑦	調査項目の測定	
12	調査・研究⑧	調査項目の測定	
13	調査・研究⑨	調査項目の測定	
14	調査・研究⑩	調査項目の測定	
15	研究データ解析①	データのグラフ化	
16	研究データ解析②	現れた差の解析	
17	研究データ解析③	処理効果の確認と考察	
18	研究データ解析④	図表の添削、修正	
19	研究データ解析⑤	図表の完成	
20	発表会準備①	発表原稿作成	
21	発表会準備②	パワーポイント映像作成	
22	発表会準備③	パワーポイント映像作成	
23	発表会準備④	発表準備リハーサル	
24	発表会準備⑤	修正、リハーサル	
25	発表会準備⑥	最終リハーサル	
26	卒業研究発表会	野菜生産コースと合同で実施（12月最終授業日）	
27	卒業研究論文作成①	文章構成の確認と取組み	
28	卒業研究論文作成②	下書き、チェック	
29	卒業研究論文作成③	添削・修正	
30	卒業研究論文作成④	最終チェック、提出	
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	インターンシップ			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期または後期	時間数	60		単位数	2
授業概要	外部企業において実際に現場を経験し、自身の現在の実力を理解するとともに企業担当者からも評価してもらうことで、今後の学習目標を定める。また、就職活動においても役立つ。	到達目標	自分の希望している企業（職種）での業務において、必要な知識と技術を理解するとともに、今後の学習目標を定める。			
担当教員	外部企業					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	考課表および実習報告書にもとづいて総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	企業研修	6～12日間程度外部企業で研修を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	管理実習			履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	60	単位数	2
授業概要	農場の管理を通して植物の適正な管理方法について学ぶ。	到達目標	様々な植物に対する管理方法を身に付ける。			
担当教員	伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況、実習態度を総合的に評価する。		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	農場等の管理実習	長期休業期間中に校内で管理実習を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	校内行事			履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	120	単位数	4
授業概要	様々な校外行事に参加し、主体性、協調性、作業の計画性など、就職してからも活かせるような知識や技術を身につける。	到達目標	様々な校内行事を通して、主体性、協調性、計画性などを身につける。			
担当教員	伊藤 弘充、竹本 春菜					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況や各行事への取り組む姿勢、レポート等を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	新年度オリエンテーション	ガイダンス、健康診断等	
2	母の日販売会準備	母の日販売会に向けた準備	
3	母の日販売会	母の日販売会	2日間のうちどちらか1日出席
4	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
5	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
6	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
7	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
8	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
9	文化祭	展示／販売／体験教室等	
10	文化祭	展示／販売／体験教室等	
11	文化祭 片付け	文化祭の片付け	
12	卒業・進級作品展	展示等	
13	卒業・進級作品展 片付け	卒業・進級作品展の片付け	
14	卒業式予行	卒業式予行	
15	卒業式	卒業式	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考